

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F

TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

こくみんみんしゅ

Press

号外

2022年2月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

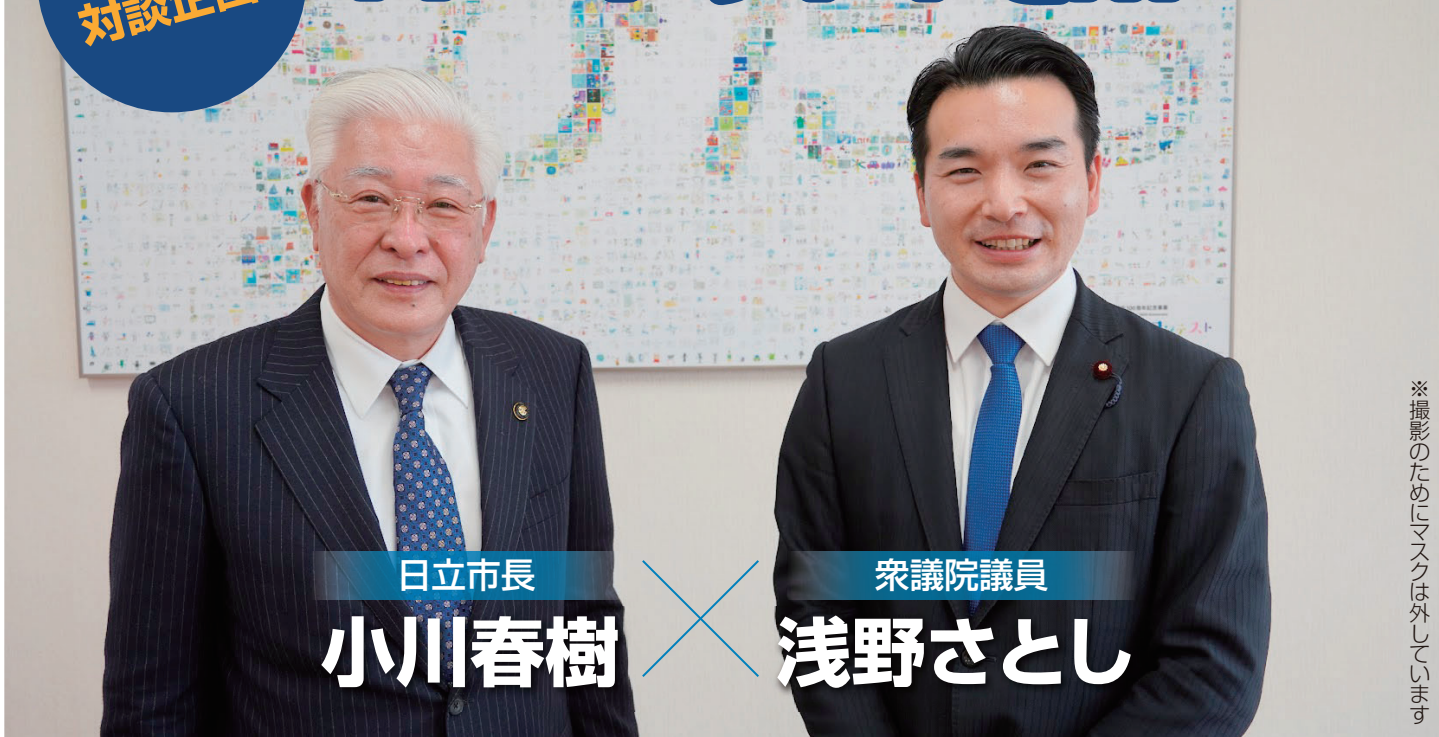
公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



スペシャル
対談企画!

日立市の未来を語る



日立市長

小川春樹

衆議院議員

浅野さとし

※撮影のためにマスクは外しています

2022年新春特別企画として、本年も小川春樹 日立市長との特別対談を実施させていただきました。

対談では、東京五輪や各種選挙を開催しつつ新型コロナウイルス感染症の対策に全力を注いだ
2021年を振り返り、オミクロン株という新たな脅威に直面する自治体の対応状況や
2022年の展望についての思いを語っていただきました。

2021年の振り返り

浅野 昨年はコロナへの対応が続く中、東京オリンピック・パラリンピックや知事選・衆院選などの各種イベントがあり、日立市役所の皆様も大変慌ただしい一年だったと思います。特に印象に残っていることを教えてください。

小川 はじめに、浅野議員におかれましては、先に行われました衆議院議員総選挙におきまして、見事当選を果たされましたこと、改めまして心からお祝いを申し上げます。浅野議員には、日頃から、「現場主義」という一貫した政治姿勢のもと、私ども地元自治体をはじめ、地域の声に丁寧に耳を傾けられ、「地方の代弁者」として、

我々地方の声を国政へ届けていただくとともに、本市のまちづくり推進に多大なご尽力をいただいております。こうした浅野議員の誠実で真摯な姿勢が、多くの方々の信頼と信望を集め、この度の御当選を勝ち取られたものと考えております。本市といたしましても、大変心強い限りです。

昨年を振り返りますと、多くの話題があった一年でありましたが、本市におきまして、特に印象深かったのは、まずは日立製作所様の「日立オリジンパーク」が誕生したことです。日立製作所の企業理念や発展の歩みなどを広く紹介する一大ランドマークが、創業の地である本市に誕生いたしましたことは、誠に意義深く、交流の拡大や地域活性化にも大いに寄与いただけるものです。また、JX金属様による市内2つの新たな工場建設



の発表もございました。いまや世界を舞台に活躍される日立市創業の企業2社が、原点となる創業の地と共に歩みたいとの思いのもと、こうした施設整備、そして投資のご決断をいただきましたことは、言葉に尽くしがたい喜びごとでした。

また、本市のまちづくりにおきましては、日立総合病院の地域周産期母子医療センターが12年ぶりに再開いたしましたほか、みやた認定こども園の新園舎が完成するなど、お子さんをより安心して生み育てられる環境づくりを進めることができました。また、日立シビックセンター科学館「サクリエ」や、かみね動物園の新たなレッサーパンダ舎がオープンし、まちのにぎわいづくりも大きく進展したものと考えております。

浅野 いまのお話を伺い、日立市には新しいランドマークが次々に誕生していることを改めて認識しました。他にも、2020年には日立駅が全国の駅の中からデザイン性に優れた駅を選出する「モダン駅舎10選」で2位に輝いたことや国民宿舎「鶉の岬」が宿泊利用率で32年連続1位を獲得するなど、日立市には全国有数ともいえるスポットがいくつもあります。今年はずいぶん、日立市の魅力をさらに多くの人々に知らせる年にしたいものです。

新型コロナ対策について

浅野 日立市はコロナ対策のためにコロナ検査への助成や医療体制の拡充、ワクチン接種への対応、各種の事業者支援策など様々な施策をすすめてきました。直近の状況や今後のコロナ対策について教えてください。

小川 本市では、昨年2月に「新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム」を設置し、医療機関をはじめとする関係機関との連携のもと、ワクチンの円滑な接種体制の構築、接種に関する広報、そして相談の受付などを行い、

市民の皆様への早期接種を力強く推進してまいりました。現在、接種対象者となる12歳以上の市民の接種率は90%を超え、順調に進んでいるところではありますが、オミクロン株等への対応など、未だ予断を許さない状況は続いており、現在は国の指針に基づき、3回目の接種に向けた準備を進めているところであります。

併せまして、事業者の皆様をお支えし、地域経済の活力を取り戻すべく、経営への支援や雇用を守るための支援、そして飲食店や小売店等の消費活性化への支援などを実施するとともに、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たなビジネスモデルへの転換支援なども行ってまいりました。

本年も、市民の皆様への命と健康を守り、安心して日々の生活を送っていただけますよう、3回目のワクチン接種をはじめとした感染予防対策はもとより、幅広く、切れ目のない生活支援、事業者支援を、スピード感をもって力強く推進し、新型コロナ克服に向け全力を尽くしてまいります。

浅野 私も昨年は、ワクチンの早期供給・安定供給のために、何度も厚生労働省や茨城県と協議を重ねました。既に始まっている3回目接種については、ファイザー製ワクチンとモデルナ製ワクチンの供給割合が昨年と異なる見通しのため、混合接種（1・2回目接種時とは異なる種類のワクチンを接種する事）への対応が求められてきます。市民の皆様や地域医療の現場に不安や混乱をきたさないよう、引続き緊密に連携させてください。

政府への要望等について

浅野 特に私が印象的だったのは、日立市は地方創生臨時交付金を活用し、他の自治体の模範となった「おうちでひたちごはん事業／おいしいひたちごはん事業（テイクアウト・デリバリー割引）」や「ひたちのまちでお買い物（小売店等支援事業）」に取組んだ点です。これらの事業は総じて市民の方々からも好評でした。引続き、地域経済・雇用の回復、地域福祉の下支えなど多くの課題が残されています。政府への要望や国会への期待があれば教えてください。

小川 「おいしいひたちごはん事業」や「ひたちのまちでお買い物事業」といった地元買物推進事業を高く評価していただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍における飲食店等の支援を目的に、一昨年から2年続けて事業を展開いたしました。事業者支援としてはもちろん、多くの市民の皆様にも市内の飲食店等を再発見していただく機会になるなど、事業者、利用者の

双方から一定の評価をいただけたものと認識しております。

国からの地方創生臨時交付金は、このほか、コロナ禍における運動不足の解消を図るため、郷土の宝であるラジオ体操の実施を推進する「ラジオ体操普及事業」や、新しい生活様式に対応した、従来の敬老会に代わる「敬老高齢者元気応援事業」などに活用させていただき、大変貴重な財源となっております。また、売り上げの減少が著しい、宿泊事業者や交通事業者への支援や、コロナ禍において生産設備への投資が困難な事業者に対する設備投資への支援など、地域経済回復のための取組みにも活用させていただいております。

この2年間は、「市民の命を守る」「市民の暮らしを守る」「地域経済を守る」の3つの視点に立ち、新型コロナウイルスの感染症対策に注力してまいりましたが、本年は「新型コロナウイルス感染症拡大防止」はもとより、ポストコロナを見据えた「社会経済活動の再開」、そして本市が直面する「人口減少」と「超少子高齢化」という喫緊かつ重大な課題解決へも取り組んでいかななくてはならないと考えておりますので、これらに対する、引続きましてのご支援とご協力をお願い申し上げます。

浅野 市長がおっしゃる様に、「命」や「暮らし」、「地域経済」を守るためには、ウイルスの早期発見が大変重要になります。そこで、昨年末に編成した令和3年度補正予算では、コロナ検査費用の負担軽減のため、地方創生臨時交付金に「検査促進枠」を新設し、自治体の判断でPCR検査や抗原定量検査の無償提供をできるようにしました。茨城県も1月より県民の皆様は無償検査を提供していますので、日立市においても、市民の皆様がこの事を周知し、活用してもらえようをお願いいたします。



小川 温暖化に伴う気候変動が世界的に顕在化する中、カーボンニュートラルの動きは急速に拡大しており、本市におきましても、豊かな暮らしと活力が持続する未来を創るため、市民・行政・企業が一体となって脱炭素化に取り組んでいく必要があるものと、認識を強くしているところです。

お話にありました「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進協議会」には、私も委員として出席しておりますが、日立港区の日立LNG基地をはじめとした日立市の特色や地域性を活かし、地域の脱炭素化につなげていくことなどが検討されているところであります。

日立市は、市民と企業が共に力を合わせ、鉱山からの煙害を克服したという歴史を有しており、平成17年には「環境都市宣言」をするなど、自然と産業が調和した都市づくりを進めてきた経験と、環境保全に対する強い意識と誇りを持っております。また、地域コミュニティが発展している本市には、ボトムアップ型の環境都市づくりを実現できるポテンシャルがあるものと考えております。

こうした中、本市では、脱炭素化を積極的に推進するため、昨年11月に分野横断的な推進体制を設置したところです。今後は、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、市民と事業者、そして行政が一体となって取り組めるような事業を展開してまいりたいと考えておりますので、浅野議員におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

浅野 私も日立市には、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する様々なポテンシャルがあると思います。日立LNG基地などのハード面のみならず、環境問題やテクノロジーに造詣の深い方々が多く住んでいるのも日立市の強みだと思いますので、カーボンニュートラル社会を市民の皆様とともに創りあげる取組み等も応援していきたいと考えていますので、今後とも様々なアプローチを議論させていただきたいと思っております。

カーボンニュートラルに関する取組みについて

浅野 今後の産業振興策には、カーボンニュートラルへの対応がより重要になると考えており、日立市を含む県北地域には日立グループの各事業所をはじめ、LNG基地、各種の発電所や最新鋭の研究機関など様々なカーボンニュートラル関連産業拠点が集積しており大きなポテンシャルがあります。茨城県は昨年「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進協議会」を立ち上げて議論をすすめているそうですが、日立市のカーボンニュートラルに関する今後の展望があればお聞かせください。

2022年の抱負

浅野 最後に、今年こそ新型コロナウイルス感染症の話題ばかりでなく、明るい話題もたくさん生まれる良い年にしていきたいものですが、今年一年間の目標や抱負があれば聞かせてください。

小川 現在、本市では、新型コロナ克服に向けた取組みとともに、久慈サンピア日立の改修やかみね動物園の新たな猛獣舎の整備など、アフターコロナを見据えた、将来のまちのにぎわいづくりにつながる事業も進めているところです。いずれの施設も、本年中に整備が完了する見込みとなっておりますので、ぜひ多くの皆様にご利用いただきたいと思います。

また、今年、令和4年度からの10年間のまちづくりの指針となる、新たな日立市総合計画を策定し、その計画期間がスタートする節目の年であります。本計画をもとに、人口減少対策や2025年問題といった本市を取巻く喫緊の課題への対応はもとより、デジタル化の推進、そして脱炭素社会の実現といった新たな課題にも対応しながら、すべての世代の方々が生き生きと輝く、

安心と期待に満ちたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。浅野議員におかれましては、引き続きましてのご支援とご協力をお願い申し上げます。

浅野 日立市の更なる成長・発展のためにも、新しい日立市総合計画の中身には大きな関心を寄せています。ぜひ、日立市に住む幅広い世代の声を盛り込んでいただき、市民の皆様や日立市に関心のある方達が日立市にさらなる発展の可能性を感じとる計画となることを期待しております。私も国政を担う立場から、日立市の更なる発展のために全力を尽くしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。



浅野さとし後援会は、**新規会員を募集中!**

浅野さとしの政治活動は、皆さまのお力によって支えられています。

広報物の発送、国政報告会のご案内をしております。皆さまのご入会をお待ちしております。



←ご入会はこちらから

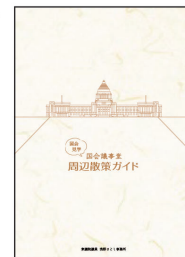
— 1,200円/年より



国会議事堂を見学しませんか?

- 団体・個人を問わず見学を歓迎します
- 土日の見学もご相談に応じます
- 平日に限り、議員会館内の食堂利用可(予約制)
- 所用時間は、約1時間・バス無料駐車場有り

浅野さとし事務所オリジナルデジタルパンフレットはこちらのURLよりご覧ください。



第207回国会における役割

所属委員会

- ▶ 議院運営委員会
- ▶ 原子力問題調査特別委員会
- ▶ 内閣委員会

党内での所属調査会

- ▶ エネルギー調査会(会長)
- ▶ 国対委員会(委員長代理)
- ▶ 税制調査会(事務局長)

浅野さとし 略歴

- ▶ 1982年9月生まれ(39歳)、衆議院議員(2期)
- (株)日立製作所日立研究所研究員
- 日立労組研究所支部執行委員
- 大畠章宏元衆議院議員秘書



SNSにて日々、情報発信中! 浅野さとしの活動をぜひご覧ください!



YouTube



Facebook



Instagram



Twitter



LINE

